



勇払原野におけるオオジシギ個体数調査 その2

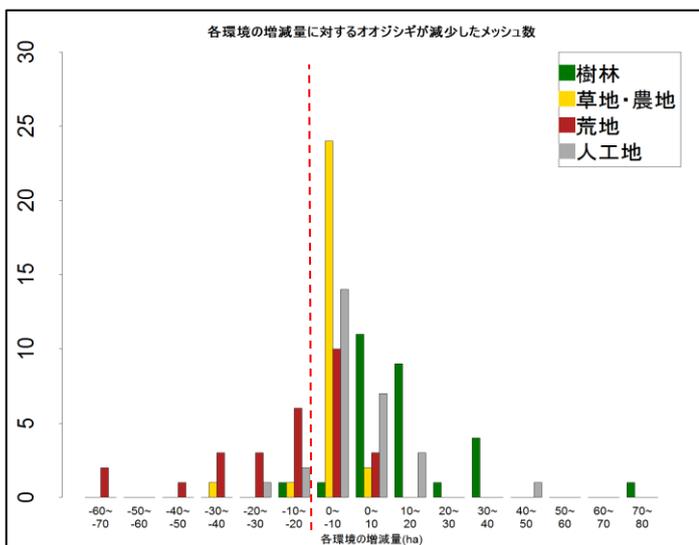
ファクトシート2「勇払原野におけるオオジシギ個体数調査その1」の結果から、オオジシギの個体数の変化と環境の変化の関係を調べた。

方法

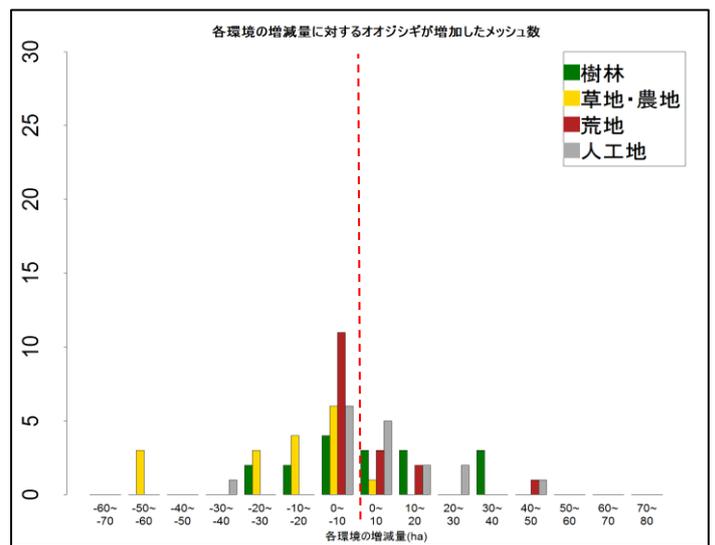
オオジシギの個体数を調査した59ヶ所の1km×1kmのメッシュにおいて、2000・2001年と2017年の調査結果を比較して、オオジシギの数の増減と環境の増減を一般線形モデルで解析した。環境は土地利用から（荒地・樹林地・草地農地・人工地）の4つの環境について調べた。

結果

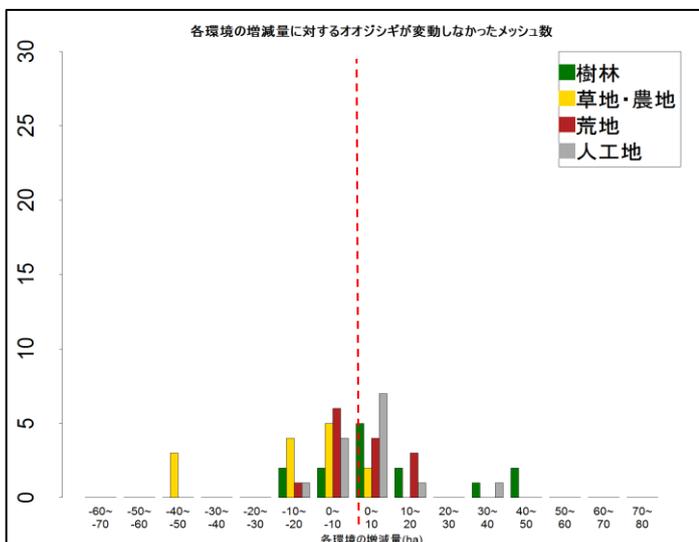
オオジシギが減少したメッシュは、樹林が増えている場合が多いことがわかった。また、オオジシギが減少したメッシュでは統計的に有意に草地・農地が減少していた。オオジシギの生息環境を守るためには、生息地の樹林化を防ぎ、草地を維持していく必要があることがわかった。



オオジシギが減少したメッシュ



オオジシギが増加したメッシュ



オオジシギが変動しなかったメッシュ

モデル名	森林	草地・農地	人工地	荒地
オオジシギの個体数増減を一般線形モデル(係数)	-0.000002365	0.000004321	0.0000022020	-0.0000005492
p値	0.555	0.331	0.527	0.879
オオジシギが減少したor notを一般線形モデル(係数)	-0.000000462	-0.00001253	-0.0000058290	-0.0000008266
p値	0.906	0.043	0.121	0.815
オオジシギが増加したor notを一般線形モデル(係数)	-0.000006672	0.000005075	-0.0000006071	-0.0000051760
p値	0.12012	0.39042	0.86712	0.15656